



日本管理会計学会 2025 年度 第3回フォーラム



【主催】 日本管理会計学会

【共催】 東京国際大学商学部 地域共創のための経営管理会計教育研究イニシアティブ (REIMAC)
東京国際大学大学院商学研究科

【後援】 川越商工会議所

日 時：2025 年 11 月 29 日（土） 14 時 00 分～16 時 40 分（対面開催）

会 場：東京国際大学川越第 1 キャンパス 2 号館 3 階 232 教室

参加費：無料（一般の参加者の方も歓迎します）

テーマ：地域活性化のために管理会計が果たすべき役割とは何か？

プログラム

■13 時 30 分 受付

■14 時 00 分～14 時 05 分 開会挨拶 日本管理会計学会 会長 崎 章浩 氏 （東京国際大学）

〔特別講演〕

■14 時 05 分～15 時 00 分

講演者：笛木 吉五郎 氏 （笛木醤油株式会社 代表取締役社長 十二代目当主）

題 目：「235 年続く老舗醤油蔵によるマネジメントシステムを活用した地域活性化の取り組み」

笛木醤油株式会社 <https://kinbue.jp/>

寛政元年 1789 年創業の老舗醤油蔵。2019 年 11 月創業 230 周年記念事業として体験型施設「金笛しょうゆパーク」オープン（年間工場見学者数 40,000 名以上）。2020 年 4 月より新規事業として地域の特産物を活用したバウムクーヘン製造販売をスタート。

〔研究報告〕

■15 時 10 分～16 時 35 分

第 1 報告 15 時 10 分～15 時 50 分

報告者：伊藤 和憲 氏 （東京国際大学）

論 題：「中小企業における管理会計の事例」

本報告では、大企業で実践されてきた管理会計システムを中小企業に導入した事例を紹介します。管理会計システムとして、今回の事例は小さな病院で離職率を戦略的にマネジメントするバランス・スコアード(BSC)を導入した経緯を紹介します。同病院の事務部長が勉強しながら BSC を導入したが、本報告者に導入支援を依頼された。BSC 導入上の間違いを正したり、電子カルテの導入を支援したり、コロナ禍での BSC の効果などをサポートした。このような BSC 導入プロセスを明らかにする。

■15 時 55 分～16 時 35 分

第2 報告 15 時 55 分～16 時 35 分

報告者：宮地 晃輔 氏（長崎県立大学）

論 題：「管理会計研究者と税理士法人が連携した地域企業人材に対する管理会計教育の可能性
－新しい地方創生の展開を視野に入れて－」

本報告では、管理会計研究者と税理士法人の協働により作成された中小企業者向け管理会計テキストを用いた地域企業人材に対する管理会計教育の実践例を用いて、当該人材に対する管理会計能力の定着させることで地域企業の競争力の向上に接続させられる可能性について、新しい地方創生の展開を視野に入れながら論究することを目的とします。

■16 時 35 分～16 時 40 分 閉会挨拶 フォーラム準備委員長 奥 倫陽 氏（東京国際大学）

●会場アクセス



東京国際大学 川越第1キャンパス

〒350-1197 埼玉県川越市の場北 1-13-1

東武東上線「霞ヶ関」駅南口より徒歩 5 分

JR 川越線「的場」駅より徒歩 13 分

- ・学内の駐車はできません。お車で越しの方は、近隣の駐車場をご利用ください。
- ・キャンパス内は、全面禁煙です。

当日のご参加も歓迎いたします。ご希望の方は、2号館1階の受付までお越しください。ただし、当日のお席は先着 200 名様までとさせていただきます。満席の場合はご入場をお断りすることもございますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ先：日本管理会計学会 2025 年度第 3 回フォーラム準備委員会 jama19910727@gmail.com